

鴨田川の水質調査について

作者：春風システム



ナマズフィッシング 失敗か成功どっち？

(1)はじめに

僕がこの水質パトロール隊に参加しようと思った理由は次の通りです。鴨田川の横に鴨田エコパークの鴨田グラウンドというところがあり、よく遊びに行っていたのですが、遊んでいると横に魚釣りをしている人がいて、何を釣っているか知りたくなりました。そこで調べてみると、鯰(ナマズ)を釣っていることがわかりました。そこでなにか発表ができるようなものはないかと探して、この水質パトロール隊を見つけました。それで早速参加することにしました。



(2)調査の器具作り

まず、透視度計を作りました。これは、ペットボトルを4個つなげて作りました。一番大変なのはペットボトルをカッターで切ることでした。切るときにしるしをつけてから切ったほうがいとわかりました。透視度計を作るのに、使うビニルテープは、色が薄いほうが見やすいとわかりました。



↑鴨田川についたときに村前橋から撮った写真(下)、釣りをしている様子(上)↑

↑透視度計を作った後試している様子↑

(3) 調査

1. 9月24日

codは6で、透視度を測ったら47cmでした。水の色は、特にありませんでした。泡もありますが、じっと見ると消えるので、洗剤というよりは水門が滝のようになって泡ができたと思いました。匂いは特にありませんでした。濁り具合は水面から15cmほど下まで見えました。生き物は、鯉、ナマズ、ミシシippアカミミガメ、ウグイのような魚が川の中において、上空にはトンボ、コウモリなどがいました。川の周りには、コンクリートで固められ、水門が無数にあります。ごみは、見たところ少しあります。ちなみに交通手段は自転車です。



↑codを測った記録↑



↑透視度計を使っている様子↑



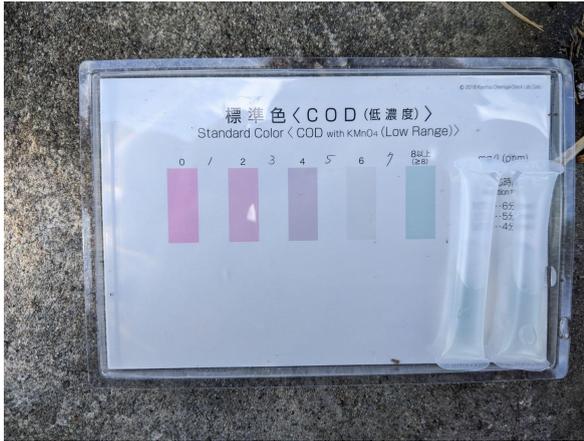
↑鴨田川の北側の様子↑



↑水門の様子↑

2. 10月2日

codは15とかなり高く、高濃度用を使いました。透視度は、49.5(1回目:46、2回目:53)で水の色がかなり薄い青緑か緑で白っぽい色がまざっているような色に見えました。泡は前回と同じで、洗剤のような汚れの泡はないように見えました。濁り具合は前回と同じで、だいたい15cmくらいまで見えました。中流側では匂いは特にありませんでしたが、上流の方は下水の匂いが少ししました。



↑codを測った記録↑



↑自転車で行く様子↑



↑水門の前で川の様子を見ている写真↑



↑鴨田川の南側を見渡せる写真↑

3. 10月12日

codは8で、一回高濃度用を使いましたが、使わないでもよかったみたいでした。透視度は、今回は測っていません。水の色はとくになく、透明で泡は前回と同じで、汚れでできた泡は特にはないと思いました。濁り具合も前回と同じで、だいたい15cmくらいだと思いました。今回の川の匂いは特にありませんでした。



↑codを測った記録↑



↑鴨田川の水の様子↑

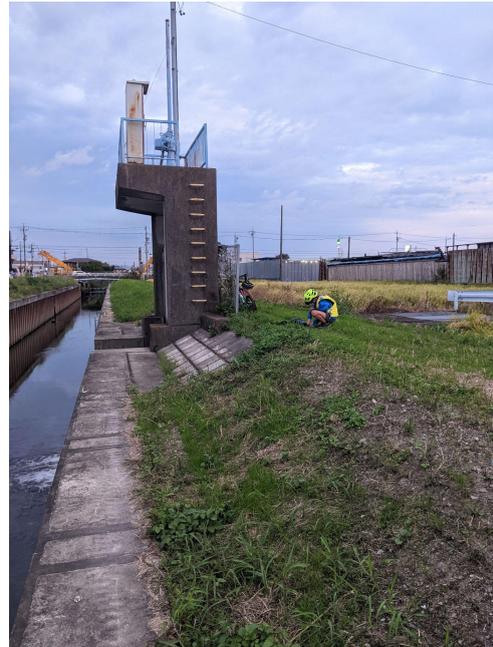
(4) ナマズフィッシングへの挑戦

実は、調査の後に毎回ナマズフィッシングをしてました。釣りは自分の趣味の一つなので、だいたい道具はそろってました。その仕掛けを使って、今回ナマズフィッシングに挑戦してみました。インターネットで調べてみると、ナマズは一回仕掛けにかかってもすぐ外れてしまい、十回ほどかからないと釣り上げはできないと知りました。早速やってみると、一回だけ何か魚がかかりました。そこで思いっきり引っ張ると糸が切れるので、魚がつかれるまで待つことにしました。そこで、魚についていこうと動

き始めようとしたところで、もうすでに外れました。その次の調査の日も、そのまた次の調査の日も試したのですが、仕掛けにはかかりませんでした。その後考えてみると、かかったのはナマズの口の中ではなく、鯉の体のどこかではないかと思いました。それ以来、この釣りに挑戦しても一回もかかりはしませんでした。



↑釣りをする様子((1)と同じ)↑



↑仕掛けを準備している様子↑

(5)まとめ

今回水質パトロール隊に参加して鴨田川の水質調査をした結果、とても大変でしたが、この調査の意味はかなりあったと思いました。ナマズフィッシングはそれほど簡単に釣れないものだとわかりました。この調査とナマズフィッシングの2つとも挑戦して、ナマズは汚れた川に生息しているのではないかと思いました。そして、調査で出てきたウグイのような魚が正確にどんな魚なのか知りたいです。